

平成19年9月25日
株式会社新生銀行
(コード番号: 8303)

コーポレートサステナビリティの推進について

銀行は今日、気候変動、資源の枯渇やグローバリゼーションへの反動など、収益性や競争環境に対する新しく複雑な課題に直面しています。かかる環境面、社会面、ならびに企業統治面でのリスクの増大に対応するため、当行はこのたび、利益を極大化し、銀行のバリューを反映し、全てのステークホルダーの期待に応えつつ、企業価値を創造し持続的に拡大するための部署を新設いたします。

当行社長のティエリー・ポルテは次のように述べています。「健全なコーポレートサステナビリティに対する戦略は、当行が競争力を維持し全てのステークホルダーに対し長期的に価値の提供を行うためには欠くべからざるものと考えています。こうした新たな課題はまた、機会として捉えることが可能と考えています。」

コーポレートバリュー部は、地球規模の環境への脅威や社会構造の変化によって発生するリスクの評価と管理により企業価値の持続を図ることに注力します。銀行は貸出および投資のポートフォリオを通じてこのリスクに直面していることから、環境や社会に悪影響のある慣行に反対するステークホルダーは銀行に対してより厳しい視線を送るようになってきました。主要な金融機関ではこうした要素をリスク管理ならびにブランドの保護対策に取り入れています。当行は逆に、かかる状況は貴重な機会でもあると考えています。コーポレートサステナビリティの実践は、環境、社会、企業統治の側面における様々なリスクから企業を守る新たな方策を提供するものです。また、効率化や生産性の向上により、企業と社会の利益が一致するような新たな市場の創設により、さらに、これらによって企業のレピュテーションの向上や社員のモラルの向上、顧客からの評判の向上が図られることにより、企業の長期的な収益の拡大や企業価値の増大に大きく貢献しうるものです。当行はコーポレートサステナビリティの実践によって生み出される企業価値の測定とモニタリングを慎重に実施するとともに、世界のベストプラクティスをベンチマークとしてこの課題に取り組んでまいります。

コーポレートバリュー部には、「サステナビリティ推進室」、「社会文化貢献推進室」および「ブランド推進室」を設置します。部長には現海外向けIR担当の責任者であるアレクサンダー・ドライグレシアが就任します。

以上